



くれたけだより

秋号

呉竹



祝・新校舎完成!!

呉竹会 会長 牛込 信喜

今夏は、昨年以上に暑い日々が続き、各地で最高気温の記録が塗り替えられました。会員の皆様も暑さ対策で大変苦労されたことと思います。

遅くなりましたが、酷暑見舞、心より申し上げます。

二〇二二年四月に着工した新校舎建設は、本年二月末、完成に至りました。四月より鍼灸マッサージ科と鍼灸科が、八月より柔道整復科が新校舎で授業を開始しております。また、学校名は「東京医療専門学校」から「東京呉竹医療専門学校」へと、変わりました。更に嬉しいことに、今年度より自前の新築のホールで、入学式を執り行いました。会員の皆様のお蔭で、百周年事業も順調に進んでおります。

さて、我々の業界において、かねてより懸案になっていたマイナンバーカードによるオンライン資格確認ですが、マイナンバーカードリーダー購入に対する、国からの補助金も確定しましたので、一安心です。まだ、補助金を申請されていない会員の皆様は、二〇二四年十二月末まで、申請できますので、お忘れなく。

さてさて、アメリカの次期大統領が、バイデン大統領の撤退により、誰になるかにより、日本経済及び、世界経済は大きく左右されるのが予測されますし、中国経済の動向もあいまいな状況です。日本経済も、株価高よりも、世界的な気象異常と地政学的な問題（戦争・紛争）がもたらす食糧不足による

高騰で、実生活に還元されておりません。今年には大きな地震が年初より続いており、八月八日には初の巨大地震注意「南海トラフ地震臨時情報」が、政府より発表されました。何度か話しておりますが、我々のOB・OGによる、災害支援活動も多く実施されております。会員の皆様も、機会がありましたら、ぜひ、ご協力いただきたいと、心より願っております。

今後の計画になりますが、記念行事の一環である新校舎への移転完了後は、創立百周年事業を計画通り実施できるよう、役員一同と共に、頑張っていくたいと意気込んでおりますので、会員の皆様にも、ぜひ、募金をご協力いただければ幸いです。

パラ陸上競技 山下千絵選手のサポート

呉竹学園東洋医学臨床研究所 春日井有輝



私は現在、パラ陸上競技のアスリートである山下千絵選手（SMBBC日興証券株式会社）のコーチ・トレーナーとしてサポートを行っています。山下選手はT六四クラス（片脚の下腿に義足を装着して競技するクラス）の選手で、百メートル・二百メートル走を専門としています。

山下選手と出会った七年前は、義足のアスリートに関わった経験がなかったのですが、これとだけでしたが、不安ながらも出来るだけのサポートをしようと決心し



たのを覚えています。サポート内容は、短期・長期の目標とトレーニング計画の立案、走る練習の指導、身体作りのための筋トレ・食事の指導、身体のケアを実施するのに加えセルフケアの指導、断端のケアや義足の調整など多岐にわたります。特に義足を使用していることによる動きの左右差や、それによる左右非対称にかかる身体へのダメージなどはこれまでの陸上競技指導では経験してこなかったため、日々試行錯誤の連続です。義足について学ぶために、義肢装具士の方や義足のメーカーに訪問して質問責めをしてしまったことも

もありません。なかなか記録が伸びなかったり、身体の痛みが強くなったりしてトレーニングの継続ができなくなってしまう時期



もありましたが、今年の五月に神戸で開催された世界パラ陸上競技選手権大会に、初めて二百メートルの日本代表として山下選手が選出されました。長くサポートしてきた選手が日の丸をつけて競技をしている姿を見ることができ大変嬉しく思うとともに、より競技力を高めて再び国際大会に送り出せるように私も頑張らねばと決意を新たにしました。引き続き一生懸命サポートしてまいりますので、皆さま応援のほどよろしくお願いいたします。【東京呉竹医療専門学校は山下千絵選手の公式スポンサーとなります。】

発行所 呉竹会 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12 東京呉竹医療専門学校内 TEL 03-3341-4043 <https://www.kuretake.ac.jp>

令和6年度 東京呉竹医療専門学校入学式

新校名での初の入学式を KURETAKE HALLにて開催

東京医療専門学校は令和六年四月一日、校名を東京呉竹医療専門学校に変更しました。新校名となって初の記念すべき入学式が、令和六年四月五日に執り行われました。会場は「KURETAKE HALL」。新校舎の地下二階にあるレ

ンガ素材のルーバーをあしらった造りのホールです。このホールの使用も今回の入学式が初。式は新入生計百五十六名（教員養成科二十七人、鍼灸マッサージ科五十三人、鍼灸科四十人、柔道整復科三十六人）を担当教員が呼名し始めました。



学校長式辞では村上哲二校長が、本年一月一日に発生した能登半島地震と、入学式の二日前に起きた台湾地震で逝去された方々に哀悼の言葉を冒頭に掲げました。その後、呉竹学園の歴史と令和八年に創立百周年を迎えること、本校は現在までに約一万五千人を超える卒業生を、学園全体では二万五千人を超える卒業生を輩出していることを紹介しまし

た。そして「卒業後に対応することになる生活者の皆様の心と身体の状態は多様であり、変化している。小さな変化を見逃さずに適切な医療や施術が提供できるようにするために、他者を理解する能力と確かな知識と技術が求められる」と語り、卒業後を見据えた過ごし方が大切であることを示しました。さらに「学校が提供するプログラムを信じて一つひとつの課題に粘り強く取り組み、医療人にふさわしい知識と



技術、態度を身につけてほしい。その努力は自分自身を向上させるだけでなく、患者貢献、社会貢献にもつながる」と要望しました。

続いて呉竹会の牛込信喜会長が登壇し、新入生へあたたかい言葉を贈りました。在校生代表による「迎える言葉」では柴田聖子さん（鍼灸マッサージ科三年）が登壇。膨大な医療の知識や鍼灸をはじめとする技術

令和6年度 卒後臨床研修講座



全講座、新本館での開催を予定しています。生まれ変わった母校へ、この機会にぜひ、お越しください。

講座名／開催日時／申込期間	講師／講義内容
臨床に役立つ「緩和ケア」 10月27日(日) 13:30～16:40 期間：9月30日(月)～10月18日(金)	堀口 葉子 先生 仁居(にこ)治療院 院長・国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 『がんの痛み医療テキスト』(南江堂) 鍼灸療法の執筆者でもある堀口葉子先生。本セミナーでは、「緩和ケア」領域における鍼灸の実際についてご紹介いたします。
臨床に役立つ「不妊鍼灸」 11月24日(日) 13:30～16:40 期間：10月28日(月)～11月15日(金)	國井 正輝 先生 くに治療院 院長・日本不妊カウンセリング学会認定不妊カウンセラー 鍼灸マッサージ教員養成科を卒業後、2010年、鍼灸院を開業された國井正輝先生。本セミナーでは、不妊鍼灸の専門院として長年の経験をもとに、臨床の実際をご紹介します。
臨床に役立つ「スポーツマッサージ」 12月15日(日) 13:30～16:40 期間：11月18日(月)～12月6日(金)	廣橋 憲子 先生 ワキ鍼灸マッサージ整骨院 副院長 水泳日本代表チームトレーナーとしてオリンピックにも帯同された廣橋憲子先生。本セミナーでは、パフォーマンスに直結する「スポーツマッサージ」をご紹介します。

※申込方法ほか詳細につきましては、本校 HP (右上 QR コード) からご確認ください。

※受講料は全て 3,000 円

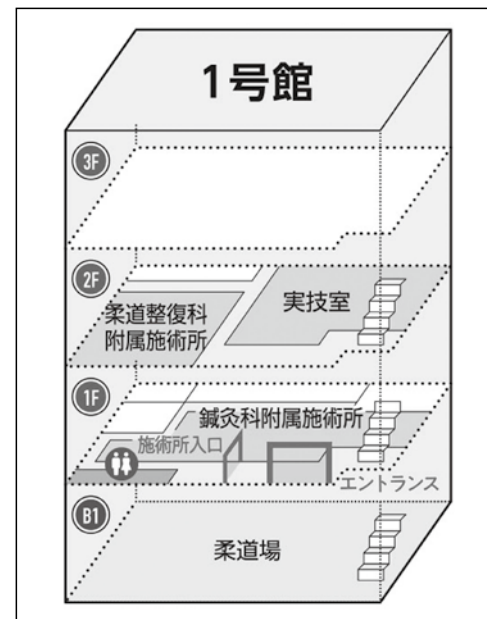
四谷校舎 新1号館・5号館ご紹介！

本年8月に1号館・5号館の改修工事が終了いたしました。1号館には新たに柔道場、柔道整復科附属施術所、柔道整復科実技室、法人事務局が設置され、5号館は一棟すべて教員養成科の校舎として生まれ変わりました。本工事をもってすべての工事は完了。全学科が四谷エリアに集約いたしました。100周年に向け新たな学び舎で、共に歴史を刻んでいきます。

〈1号館〉

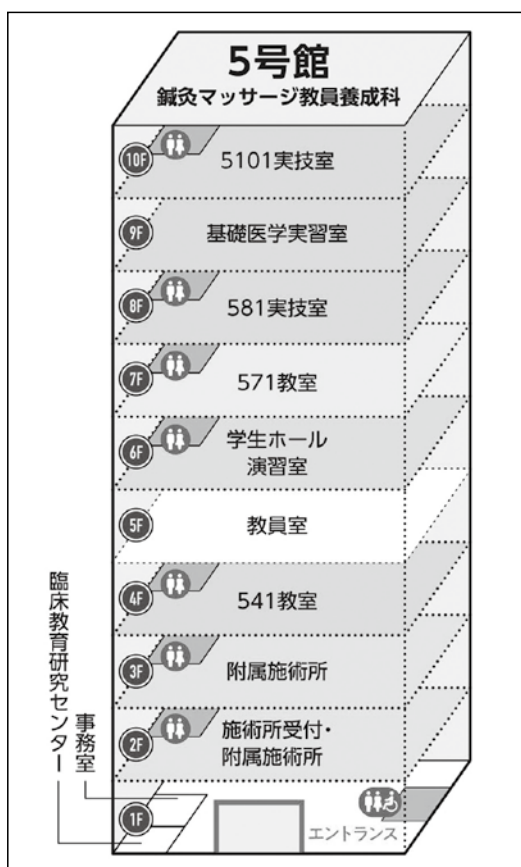
柔道場（地下1階）

旧四谷校舎 教職員室を改修。広々とした柔道場となりました。更衣室には男女共にシャワー室も完備。今年からは柔道部も再始動します。



柔道整復科 附属施術所（2階）

白を基調とした清潔感のある施術所。1階はこれまでどおり鍼灸科 附属施術所。2科の施術所が1号館に集約し、外部の方がより利用しやすい施設となりました。



〈5号館〉

鍼灸マッサージ教員養成科 附属施術所

3月まで鍼灸科・鍼灸マッサージ科の3年生が使用していた座学教室、実技室が教員養成科の附属施術所へ改修されました。8月より2階10床、3階15床の全25床、明るく広々とした空間で、指導教員のもと充実した臨床経験ができる教育の場として活用していきます。



10床（2階）



受付（2階）



15床（3階）



基礎医学実習室（9階）

上海中医薬大学 訪問の報告

上海中医薬大学への短期留学の取り組みは、一九八五年に当時の理事長であった坂本浩二先生が始められ、来年で四十周年を迎える。新型コロナウイルスの影響もあり、二〇一九年から短期留学が途切れていたが、次年度に向けた教育提携の再調印のため、坂本歩理事長、建石泰三事務長、短期留学担当で中国語が堪能な由井孝枝事務局員の三人で、同大学の国際教育学院を訪問した。

教育提携の調印式

前夜の上海へのフライトを経て、六月五日の午前十時より、上海中医薬大学の国際教育学院において、同大学の副学長を交えて懇談、意見交換を行った後、調印式を行った。当日は、大学が用意したプロのカメラマン二人が終日同行する程の力の入れ様で、日本の呉竹学園との教育提携を大切にし、学内外に情報発信する姿勢を示すものであった。

懇談の中で、舒静副学長は、教育連携が始まった当初を振り返り、「当



時はお灸の研究から始まり、レーザー灸の治効、免疫に関する研究等を行った。二〇二六年には呉竹学園は創立百周年、上海中医薬大学は七十周年、国際教育学院も三十周年を迎え、節目の年が続く。これらの周年行事には双方が参加し、共に祝いたい」と発言された。来年の交流四十周年の行

事は、ぜひ学生の短期留学と合わせて行えるようにと互いに祈念し、和やかな雰囲気の中で調印式を行うことができた。なお情報として、今年は欧州からの留学生が増加し、全体では六十一か国から留学生を受け入れているとのことであった。

附属病院の見学

午後、曙光病院、鍼灸経絡研究所、龍華病院、中西医結合病院の四つの附属病院を見学した。最初に訪問した曙光東病院は新興地区である上海浦東エリアにあり、建設面積は八万六千平方メートル、総面積は八万三千平方メートル、七百二十床を有する大学附属病院の中で規模が大きい病院である。見学した鍼灸科の診療室では、中医二名+研修生数名で十六床を見ていた。以前は鍼灸科と一体であった推拿科は、現在は分離され、推拿を主として鍼治療も合わせた治療をしている。午前と午後に来客があり、一日あたり一人が四十人以上を診る日もあ

ること。朝八時〜夜七時まで働き、土日診療もあるそう。大学附属病院の中医師はとてもハードワークである。龍華病院は、上海浦西エリア（市内地区）にあり、鍼灸科だけで年間患者数一万四千人と言い、忙しい雰囲気は曙光病院に匹敵する。鍼灸科主任の裴建（ペイジェン）先生は、世界九十か国の病院見学者を受け入れるなど、鍼灸の世界への展開に関心がある。その一方で、上海の老中医の伝統的技術を大切にし、継承していることを示す看板が掲げられていた。



鍼灸経絡研究所は、一九八五年に同研究所の教員を呉竹学園で受け入れ、共同研究をした病院であり、龍華病院の近くにある。顔面の三叉神経痛、パーキンソン病、難聴、アレルギー等の慢性的かつ難病の領域にも挑み、研究を目的としている。女性中医師が所長や主



任であり、全体として女性が多い印象であった。患者数は少なくないが、鍼灸に特化しているため、病院としては落ち着いた雰囲気施設の施設であった。

中西医結合病院は、少し郊外の上海市虹口区に位置する。中医学と西洋医学の統合を標榜する附属病院であり、西洋医学による検査(MRIなど)を診断に積極的に取り入れ、中医診断と併用することを特徴としている。推拿科で対応された朱主任教授は三部整骨法の伝承者で、中医の名譽である「中国医師獎」の報奨を受けた方で、私たちに親しく話しかけてくださる、とても気さくな方であった。

（事務長 建石）



令和6年度

呉竹会総会、講演会を開催

令和6年度五月十九日(日)、四谷校舎新本館「KURETAKETHALL」にて令和6年度東京呉竹医療専門学校呉竹会総会が開催され、在校生、卒業生、教員が参加しました。牛込信喜会長のあいさつ、村上哲二校長の祝辞のあと、令和5年度事業報告、決算報告、会計監査報告が行われました。続いて令和6年度事業計画案、予算案

の発表があり、議長の進行のもとすべての審議事項について承認がなされました。総会後は、東洋医学臨床研究所、春日井有輝(かすがい・ゆうき)先生による「東洋医学臨床研究所におけるトッパスリートへの多面的なサポート」の講演が行われました。本講演では、実際に春日井先生がトレーナーを務めているパラ陸上競技のアスリート

である山下千絵選手を取り上げ、そのサポート内容について講演されました。同日十七時からは会場を四ツ谷駅前の主婦会館プラザエフに移し、「卒業生の集い」同業種交流会の夕べ」が開催されました。本年も多くの卒業生にご参加いただき、世代を超えた交流の場として盛況のうちに終了しました。

令和5年度 事業報告
1. 呉竹会基金の募集
2. 総会・講演会の実施
3. 支部会の活動支援
4. 「くれたけだより」の発行
5. 鍼灸マッサージ教員養成科 卒業論文の贈呈
6. 令和5年度 東京医療専門学校卒業式

令和6年度 事業計画
1. 呉竹会基金の募集
2. 総会・講演会の実施
3. 支部会の活動支援
4. 「くれたけだより」の発行
5. 呉竹医学会への協賛
6. 鍼灸マッサージ教員養成科 卒業論文の贈呈
7. 令和6年度 東京呉竹医療専門学校卒業式

令和5年度 決算報告書

令和6年度 予算

収入の部 (単位:円)
表: 収入の部
1. 前期繰越金 5,514,178
2. 100周年記念準備金取崩 0
3. 会費 4,650,000
4. 預金利子 1,000
5. 補助金 500,000
6. 雑収入 1,100,000
収入合計 11,765,178

収入の部 (単位:円)
表: 収入の部
1. 前期繰越金 5,514,178
2. 100周年記念準備金取崩 0
3. 会費 4,650,000
4. 預金利子 122
5. 補助金 500,000
6. 雑収入 971,290
収入合計 11,635,590

支出の部 (単位:円)
表: 支出の部
1. 運営費 3,730,000
2. 活動費 1,650,000
3. 基金組入額 0
4. 特別会計組入額 1,000,000
支出合計 11,765,178

支出の部 (単位:円)
表: 支出の部
1. 運営費 3,756,137
2. 活動費 1,163,551
3. 基金組入額 0
4. 特別会計組入額 1,000,000
支出合計 11,635,590

上記のとおり報告いたします。
令和6年3月31日 会計 倉持 栄一
この収支決算は監査の結果適正であることを認めます。
令和5年5月10日 監事 内山 真喜 長尾 雅人

基金受入状況

基金受入状況 (昭和57年4月1日~令和6年3月31日) (単位:円)
表: 基金受入状況
年度別 人数 金額
前年度繰越金 996 12,498,647
令和5年度 0 0
計 996 12,498,647

※令和6年度に呉竹学園100周年記念事業募金への寄付金として1,000万円を取り崩す

五月晴れのもとと体育大会を開催 本科2年1組が連覇を遂げる



全員参加の「呉竹クイズ王決定戦」 など新しい試みも

令和六年五月二日、東京校の体育大会が開催されました。場所は前回大会と同じくフクシ・エンタープライズ墨田フィールド（墨田区総合運動場）。前日までは雨模様でしたが大会当日は五月晴れとなり、手入れの行き届いた人工芝のグラウンドに鍼灸マッサージ科、鍼灸科、柔道整復科、教員養成科の学生計三百七十一人と教職員が集いました。

鍼灸科・鍼灸マッサージ科科長の中村真通先生の開会宣言、村上哲二校長のあいさつのもと、柔道整復科三年の園原拓美さんが選手宣誓をされました。準備体操は教員養成科二年生たちがフィールドの周りを取り囲むように広がり、見本の動きを示し、その動きと音楽に合わせて全員で体操をしました。実況担当は柔道整復科専任教員の池亀耕太先生、放送担当は鍼灸科・鍼灸マッサージ科専任教員の上利文子先生。学生は前回大会と同様に、鍼灸マッサージ科（本科）は赤色、鍼灸科（専科）は黄色、柔道整復科（柔整科）は青色、教員養成科は白色のチームカラー

のピブスを身につけて出場しました。

競技は玉入れ、借り物競走、男女混合リレー予選、障害物競争と順調に進み、大玉転がしは校舎別の対抗戦でした。全員参加で大玉を転がすためのルートづくりに若干時間を有しましたが、結果は代々木校舎の圧勝でした。そのあとの綱引きでは本科対専科、養成科対柔整科の予選が行われ、専科と養成科が決勝に進み、専科が勝利をおさめました。余興として柔整科学生と教職員の綱引き対決があり、なんと教職員チームが勝ちました。火のついた本科学生から



再戦の申し入れがあり、本科学生対教職員では本科学生チームが勝ちました。大縄跳びは三回飛んだ合計数で競われ、本科が一位となりました。その後は新競技として全員参加の「呉竹クイズ王決定戦」が行われました。フィールドに集合した学生は、実況の池亀先生が繰り出す難問珍問に答え、正解者だけが残り

ます。最後の問題まで正解し続け「初代呉竹クイズ王」に輝いたのは柔整科の片岡寧音さんでした。競技の最後は男女混合リレーの決勝。柔整科三年、本科一年、柔整科一年が激走し、柔整科がトップで駆け抜けました。総合優勝は二年一組。昨年優勝したクラスが連覇を遂げました。今大会は本部テントで参加者からの大会BGMのリクエストを受け付けました。また前回大会同様、チームカラーを身につけた写真と「#東京呉竹医療専門学校+所属チーム」をInstagramに投稿すると、チームにポイントが得点されました。閉会式では建石泰三事務長に促され新事務職員馬込遼さんが壇上に立ちました。一カ月前に入職したばかりの馬込さんによるInstagramでの広報活動が紹介され、参加者の声援を受けました。



医道の日本 Jobサーチ

リニューアルしました！求職者がアクセスしやすいサイトへ

医道の日本社は治療院・クリニックの採用活動をサポートいたします！

鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師・柔道整復師に特化した求人情報サイト

医道の日本Jobサーチの特長

- 掲載課金型
- スピード掲載
- WEB検索上位
- Googleしごと検索への掲載も可能

まずはサイトにアクセス・メルマガ会員登録をお願いします！
広告掲載料金・ご利用方法などお気軽にお問い合わせください。
<https://www.ido-jobsearch.com/>
医道の日本社 広告係 TEL.046-865-2161

〒237-0068 神奈川県横浜須賀野市追浜本町1-105
<https://www.idononippon.com/> フリーダイヤル 0120-2161-02
TEL 046-865-2161 FAX 046-865-2707

アスリートの守り神「インディバ®・アクティブ」

0.448MHz という、安全かつ効果の高い周波数帯を使用。

INDIBA®

ACTIV THERAPY
MEDICAL PROINIC SYSTEM

高周波・中波エネルギーを使用

高周波を体内に通電させ、細胞の分子の振動摩擦運動によりジュール熱が発生。

HCR801

急性期・慢性期・術後へ

インディバ®は二つの異なるサイズの電極を一对としているため、透過深度が高められ、お客様が体感を得やすくなっています。表皮での過剰発熱（ホットスポット）も抑えることができ、気になる部位への集中的な施術をはじめ、すべての部位で使用できます。

鍼灸・整骨用品・物理療法機器から開業のサポートまで！

新時代・新医療へのパートナー

タカチホメディカル株式会社

〒182-0036 東京都調布市飛田給1-45-4 TEL: 042-498-1911 FAX: 042-480-6361
<https://www.takachiho-medical.co.jp/> E-mail: medimann@takachiho-medical.co.jp

SEIRIN 株式会社

MIにAyameがつかました！

M-Ayame

point 1 緑目(アヤメ)鏡筒
金属の筒に特製目の鏡筒(アヤメ)鏡筒が嵌められています。

point 2 ビールしろ
ビールしろが長くなり、つがみやすくなりました。

point 3 カラーキャップ
鏡筒のカラーキャップで鏡筒の太さを個別にできます。

point 4 シリコンフリー

サイズ	鏡筒長	口径	重量
No.1	25mm	φ25.4	0.18
No.2	30mm	φ25.4	0.20
No.3	35mm	φ25.4	0.22
No.4	40mm	φ25.4	0.24
No.5	45mm	φ25.4	0.26

SP鏡筒技術とは？
これまでに経験工場の加工、
高度な加工技術と設備により、
品質保証体制を確立しています。

Made in Japan
SEIRINは、国内で一貫生産しており、
品質保証体制を確立しています。

ご使用に際しては、電子版文をよくお読みください。添付文書をご参照の方は弊社HPまたは営業員までご連絡ください。

鍼灸科附属施術所 『2025年度研修生 募集のご案内』 「知っている」から「実践できる」へ！

鍼灸科附属施術所では、本校卒業生（新卒・既卒）を対象とした臨床研修制度を設けています。

●当施術所の特徴

- ① 新卒・既卒を問わず、医療者としての基本的な臨床能力が身につく研修制度です。
 - ② 前期研修（1～2年）：基本的な臨床能力を実地で繰り返し経験していきます。
*実際の患者さんを専任教職員と共に経験していくため、初学者など誰もが臨床経験をいただけます。
 - ③ 後期研修（1～2年）：自身が更に貢献すべき患者さんをより具体的にイメージし、フォローを受けながら実地で経験していきます。
*運動器症状を更に経験する、小児や婦人科、医療連携（抗がん剤治療後の末梢神経障害、顔面神経麻痺など）、自身の将来像に合わせた更なるスキルアップが臨めます。
- 修生・修了生のインタビューはこちらより→
- ④ これらを経ることで、患者さんに向き合う視点、病態を推論する力、日常臨床における施術力を得ることに繋がり、就職や開業に繋がる臨床力が身につきます。
 - ⑤ 研修は週に1日から可能なため、仕事との両立も可能です（1年ごとの更新制）。
 - ⑥ 研修費なし（賠償責任保険の加入、白衣の購入のみ）
 - ⑦ 2024年度より月曜日・火曜日は、夜の時間帯の研修を再開しました。

*（本施設が考える）鍼灸師の基本的な臨床能力：

医療者として安全性の担保、遭遇する頻度の高い症状や不応疾患の臨床推論と適応症状への貢献、など

詳細はこちらよりスライド動画をご確認ください。→

* 施術所の見学も随時受け付けています。学生時の学内臨床実習では聞けなかったことへの質問、研修の実際を研修生に尋ねる、また、実際の研修の様子を一部見学することもできます。

*お問い合わせ：

鍼灸科附属施術所（藤田、永吉、上利、吉田）03-3357-7328（直通）
お問い合わせ時間 平日9：40～17：00
（鍼灸科附属施術所 所長 藤田）



大金さん



音羽さん



伊藤さん



学校法人呉竹学園創立100周年記念事業募金について

学校法人呉竹学園創立100周年記念事業募金も皆様のご協力をおもひまして多くの卒業生の方より賛同を得ることができました。この場をおもひまして厚く御礼を申し上げます。

8月をもって、残っていた1号館・5号館の改修工事も終了し、全ての工事が完了いたしました。この生まれ変わった校舎と共に、記念すべき100周年を迎えられることを嬉しく思います。現在検討を重ねておりますその他記念事業につきましても、継続してくれたけだよりや学校HPにてお知らせしてまいります。

呉竹会会員の皆様方には更なるご理解とご協力を賜ればと思います、今年

度の春号に振込用紙をお送りしております。「100周年記念事業募金」に関するお問い合わせがございましたら、下記の「法人事務局 寄付金募集係」までお問い合わせください。呉竹会会員の皆様方のご理解・ご協力を賜れますよう重ねてお願い申し上げます。



〔お問い合わせ先〕

学校法人呉竹学園 法人事務局 寄付金募集係
TEL 03-5362-3776

図書室からのお知らせ

新しい図書室は読書と勉強に集中できる環境

「カフェみたい……」

新校舎の地下2階にある新しい四谷図書室を訪れた人が口々に言います。

廊下側の壁は全面アクリルガラス、外側の壁面には大きな窓。地下2階でありながら外界からの光がたっぷりと降り注ぎます。蔵書数は現在1万2千冊。古典書、最近の西東医学の図書、話題の漫画、学会誌、最新の医療雑誌などを揃えています。『整形外科』『中医臨床』などの雑誌を製本合本して置いているのも特徴です。

一般的な図書室と同様に、私語と飲食は控えていただきます。設置された40席はすべて1人使用で、それぞれの席の上にかかるライトが手元を照らし、読書や勉強に打ち込める環境を整えています。実際に、期末試験が迫る2週間前から期末試験中は毎日ほぼ満席となり、多くの方にご利用いただきました。廊下側に設置された6席の椅子は背もたれが大きなソファ様式なので、くつろぎながら読書や勉強もできます。



よい治療は よい鍼で

はりの専門メーカー【日本製鍼灸鍼】

ディスポ銀鍼（滅菌済み鍼）作ってます。

ホームページをご覧ください。

<https://www.needlemaeda.com>

ご注文フリーダイヤル
0120-141-828



鍼灸鍼、ディスポ鍼、鍼灸用具の製造販売

株式会社 前田豊吉商店

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪 1-22-15
電話 03-3332-7634 FAX 03-3332-8117
メールアドレス harimaeda@pop01.odn.ne.jp

2024年維持会費の納入にご協力をお願いします

維持会費とは

呉竹会では、会報発行や、各種呉竹会行事の運営など、様々な活動をご支援いただくため、維持会費の納入を「くれたけだより」秋号に振込用紙を入れ、皆様方をお願いしております。

維持会費は主に、学校と卒業生を繋ぐ「くれたけだより」の発行に大きな役割を果たしております。

また、学校行事を支える役割も果たしております。

これからの東京呉竹医療専門学校・呉竹会発展のためにも、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

維持会費振込先

一口1,000円以上での納入をお願いしております。

「くれたけだより」をお送りしている宛名の用紙が振込用紙（郵便局）になっています。

郵便振込以外で納入される場合は下記の銀行口座をご利用ください

みずほ銀行 四谷支店 普通預金口座
口座番号：1462711 口座名義：呉竹会
※振込人入力例：

登録番号 [123456 (H-1234) 宛名に印字されています] + クレタケ タロウ
必ず登録番号とお名前（カタカナ）を付けてお振り込みください。

「登録番号」の記入がないため、お振込人が判明できない場合がございますのでご注意ください。

第35回

呉竹医学会

■日時

令和6年9月28日(土)
10:00~16:20

■会場

大宮呉竹医療専門学校

さいたま市大宮区桜木町1-185-1 TEL: 048-658-0001

学術大会



テーマ：疼痛性疾患

午前の部

- 分科会（2年生による研究発表）
- 症例報告会（附属施術所研修生による症例発表）
- 一般口演（教員・卒業生などによる柔整、鍼灸、あま指に関する研究発表）

午後の部

- 記念講演
「呉竹医学会の創設より今日までの歩み、未来への展望」
学校法人呉竹学園 東洋医学臨床研究所 前所長 古屋 英治 先生

●実技セッション

- ①「物理療法による疼痛へのアプローチ ～プロスポーツ選手へ行っている治療を大公開～」
中井スポーツ整骨院 院長 中井 啓太 先生
- ②「慢性疼痛疾患に対する治療法」
北里整形外科クリニック 副院長・理学療法士 杉山 隆一 先生
- ③「頭痛に対する経絡治療」
経絡治療学会 会長・神宮前鍼療所 所長 岡田 明三 先生
- ④「頭痛に対する鍼灸治療」
学校法人 花田学園 日本鍼灸理療専門学校 附属鍼灸院 菊池 友和 先生
- ⑤「疼痛性疾患とあん摩の手技」
一般財団法人 一枝のゆめ財団 専務理事 藤井 亮輔 先生

その他

- 医療機器等の展示・販売（10:00~15:00）

★分科会発表者の必須事項

- ・指定の時間に分科会受付会場に集合し、座長と打ち合わせを行ってください。
- ・打ち合わせ：論文ファイル・スライドファイルのUSBメモリ提出、スライド試写等

★在校生の必須事項

- ・会場の「学生受付」にて、出席チェックを行ってください。

※「講演会場」「演者受付場所」「学生受付」等の詳細は、後日配布する『抄録集』にてお知らせします。

主催 呉竹医学会 後援 学校法人呉竹学園 呉竹会

久保田誠一	山崎秀樹	西郷世都子	今井素子	安原忠司	高橋勝利	広川愛香	長谷川康徳	長谷川美喜子	鈴木宝	波多野とも子	松倉健二	大谷信男
平8年	昭56年	昭57年	平6年	平14年	昭50年	平21年	平3年	平2年	昭59年	昭49年	平2年	平22年

鍼灸科

伊澤政男	洲崎理	渡邊光	竹内利勝	新井貫之	荒木稔恵	岡野信久	本郷亮	田中昭	榎本一夫	佐野滋	田中昭次	細井律子	飯田豊雄	宮野正志	宮内みちる	里吉美智子	松本泰浩	吉村淳	貴田晴照	田島るみ子	若松瑞子	村井増巳	小林宏子	
昭50年	昭47年	昭46年	昭20年	昭58年	平8年	昭56年	平4年	昭52年	昭23年	昭12年	昭39年	平7年	平4年	平31年	平5年	昭52年	昭56年	昭6年	昭53年	平12年	昭50年	昭53年	昭61年	昭50年

鍼灸マッサージ科

土屋二郎	村山紀代	綱島郁子	赤澤浩二郎	横尾和則	山城未佳	山崎未佳	小林宏子	村井増巳	若松瑞子	田島るみ子	若松瑞子	村井増巳	小林宏子	宮内みちる	里吉美智子	松本泰浩	吉村淳	貴田晴照	田島るみ子	若松瑞子	村井増巳	小林宏子	
昭50年	昭53年	昭61年	昭4年	昭20年	昭25年	昭25年	平12年	昭53年	昭56年	昭6年	昭53年	平12年	昭50年	昭50年	昭4年	昭31年	昭5年	昭52年	昭56年	昭6年	昭53年	平12年	昭50年

教員養成科

渡部由雄	石蔵福代	飯田勝己	林云海	江島健二	野澤祐介	小林良任	勝又俊雄	新井友子	渡辺広
昭48年	昭52年	昭55年	昭16年	昭49年	平19年	昭46年	昭59年	平15年	平5年

「くれたけだより秋号」でお願いしております維持会費につきまして、令和五年度後期から令和六年度前期までに七十六名の方より三十二万二千円が寄せられました。皆さま方のご協力に篤く御礼申し上げます。
今号のご協力者一覧には、令和五年九月一日より令和六年八月三十一日までにご協力いただいた方のご芳名・卒業学科（二学科以上を卒業の方はご芳名の下に※を記載）・卒業年を記載しております。なお、金額の記載は省略させていただきます。
本年九月以降に維持会費にご協力いただいた方々につきましては、来年度の「くれたけだより秋号」に掲載予定でございます。校友の皆さまにおかれましては、引き続きご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

維持会費協力者一覧

ご協力ありがとうございます

発行所

東京呉竹医療専門学校 呉竹会
〒160-0008
東京都新宿区四谷三栄町16-12
東京呉竹医療専門学校内
電話 03-3341-4043
FAX 03-3358-3976
ホームページ
<https://www.kuretake.ac.jp/>